

せいぶだより

90号 (2026年1月)

発行 上野西部地区住民自治協議会

伊賀市上野福居町 3330-1

Tel & fax 0595-23-9779

Mail seibjiti@ict.ne.jp

上野西部地区 世帯数 1,420

人口 2,899 人

(男 1,406, 女 1,493)

令和7年11月末日現在



謹賀新年

あけましておめでとうございます



健康・福祉・スポーツ部会

健康ウォーキング

11月15日(土) フレイル予防を兼ね、健康ウォーキングが行われました。行き先は、日本の紅葉名所百選にも選ばれた西明寺・金剛輪寺・百済寺の3つの天台宗寺院を巡りました(湖東三山)。昼食は多賀大社参集殿で取りました。25人が参加し、最高齢は91歳の方でしたが、急な石段を余裕で登られました。快晴の中、参加者は紅葉を楽しみながらウォーキングを行いました。



百済寺 紅葉



多賀大社



西明寺 急な石段

生活・環境・保全部会

名張市中央浄化センター見学

土手生活環境保全部会長を含む部会員3名が、10月25日(土)名張市蔵持町にある名張市中央浄化センターを訪問しました。伊賀市青山支所管内のし尿及び汚泥は名張市全域と伊賀南部環境衛生組合で共同処理をしていましたが、令和7年4月からは名張市全域のし尿、汚泥は名張市中央浄化センターで処理されることになりました。

処理の段階で生じるリンや肥料、バイオマス発電の燃料などを回収します。放流水については、全窒素や大腸菌数など何種類もの水質項目を年に24回測定しています。今後、公共下水道の整備や人口減少によりし尿等の発生量が減少することが予想されています。



(広告)

「届けます」「見守ります」「支えます」

地域のお年寄りにお弁当を届けて 丸10年
「伊賀市全域」「365日」「昼食と夕食の1日2回」

週に1回でもお届けします。お気軽にご相談ください。

宅配専門 まごころ弁当 伊賀店

伊賀市上野西町3370
西町や かかん内

電話 0595-51-0569

8:00~18:00 (年中無休)

ヒューマンフェスタ

差別を許さない
人と人のつながりをめざして



11月11日から12月10日の差別をなくす強調月間に先んじて、11月8日（土）第14回崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタが行われ、当上野西部地区から民生委員・児童委員などが参加しました。

崇広中学校区にある幼稚園、保育園、小学校（上野西・上野北・久米）、崇広中学校、高校の生徒・児童・園児が集い、差別を許さない、人と人のつながりをめざし、共に活動する素晴らしいフェスタでした。ステージでは、上野高等学校・崇広中学校吹奏楽部による合同演奏などありました。中庭には多くの飲食・販売ブースが並びました。

人権講演会

11月29日（土）上野西部地区市民センターホールで菊山順子さんを講師に、人権講演会を開催しました。西部地区に在住の外国籍3名の方に参加いただき、普段から感じていることなどお話しいただきました。

伊賀市には約6千人の外国人が住んでいます。国別はブラジルが最多で、実に45カ国の人が生活しています。また三重県の外国人比率は3.82%で、全国4位です。外国人と接する時は、やさしい日本語で、「はっきり」、「さいごまで」、「みじかく」を心がけて欲しいとのことでした。「定住」、「永住」、「帰化」の違いや、「外国籍の人達が住みやすいまち」は、「誰もが住みやすいまち」ですと話されました。

最後に、杉本防災防犯交通安全部会長から12月20日に西部地区の防災訓練があるので、皆さんも是非参加してくださいとお願いされました。

人権講演会に併せ、人権パネル展（11/28～12/7）も実施し、右の写真のとおりです。



伊賀市議会 地域意見交換会

特別部会

令和7年11月13日（木）上野西部地区市民センターで伊賀市議会地域意見交換会が行われました。

市議会から陶山議員・西口議員・山下議員・寺村議員の4名が出席、他に市議2名の傍聴者がありました。

当自治協からは、産業・建設・町づくり正副部会長及び各町自治会長が出席しました。冒頭に松生会長の挨拶の後に出席議員から自己紹介がありました。その後の意見交換会の内容は次のとおりです。



(1)「旧ふれあいプラザの今後について」 前日（12日）に議員全員協議会が行われ、プラザの件について協議された。市と民間事業者との契約解除を目指す中、解体か改修の意見が出た。解体した場合は、跡地活用は有識者らの検討委員会を設置し、有効利用のあり方を検討する一方、解体・整備の民間活用も並行し考慮していくと市側から話があった。西部地区からは、建物内部に入らせてもらい現状を見てみたいとの要望があった。

(2)「地域の担い手について」 少子高齢化の中、上野天神祭の存続が危惧されている。また役員等のなり手不足が深刻である。これらのことは西部地区に限ったものではないが、官民力を合わせ様々な方策を取っていききたいとのことであった。

城下町散策ガイドの改訂

11月14日（金）上野西部地区市民センターで、自治協会長・副会長、産業建設まちづくり部会長と事業者が協議を行いました。忍者体験施設など新設されたため、以前に作成した城下町散策ガイドをより最新に改訂しようとするものです。補助金を活用し、日本語版・英語版を作成する内容です。

産業・建設・町づくり部会



健康・福祉・スポーツ部会

2025 忍者の里

伊賀上野シティマラソンが開催されました



11月30日（日）ハイトピア伊賀周辺をスタート地点、上野西小学校をゴール地点とする伊賀上野シティマラソンが行われました。ハーフマラソン、クォーターマラソン、5km、ジョギングの種目に分かれ、2,444人がエントリーしました。出場者は快晴のもと、風になって忍者の里を駆け抜けました。上野西部地区自治協は関連地区の諸団体と共にコースの交通整理等に協力しました。



お知らせ

年末年始における診療所、公共施設、行政バス、ごみ収集・持込等については市広報12月号をご覧ください。鉄道等については、各会社にお尋ねください。

探訪シリーズ

10 古伊賀出土跡（上野公園内配水池）

（こいがしゅつどあと）

昭和 10 年（1935）、上野公園内の配水池工事現場（筒井城跡）から古伊賀の破片や、やや焼成不足の水指等が偶然出土しました。そしてそれらは百五銀行第 6 代頭取にして数寄者でもあった川喜田半泥子氏の所有する所となってしまうのです。

川喜田氏は「古伊賀発見」の知らせを聞くと、当時親交のあった陶芸家加藤唐九郎氏に確認と入手を依頼し現地伊賀へ向かわせ、詳しい報告を受けると、全てを買い取り、それらを伊賀から津へ移してしまいました。しかしその後、両氏と交流のあった政治家川崎克氏が、郷土からの古伊賀流出に対し大変残念がった事を知ると、その中の水指 1 点を完成間もない上野城（白鳳城）へ寄贈されました。それは今も天守閣一階に展示されています。

出土品に関しては諸説あるなか、窯跡は確認されていないものの、窯道具や窯壁片が有り、古田織部と交流もあった筒井定次が天正 13 年（1585）に伊賀に入封してからの筒井時代に城内で焼かれたものとされています。

このように出土跡の存在は伊賀焼の歴史を語る上において大きな位置を占めており、新たに窯跡の発見も待たれるところです。

参考書籍 「陶磁大系」第 8 巻 満岡 忠成著（平凡社）
「日本の陶磁」第 2 巻 林屋 晴三著（中央公論）
「古伊賀名品図録」桂 又三郎著（美術光芸社）
「伊賀焼」谷本 光生著（主婦の友社）

協力 伊賀文化産業協会

Album



年金 3 択クイズ 答え左下

年金の繰り下げ受給について、誤りの記述はどれか？

- ① 繰り下げ 1 カ月につき 0.7% 受取額が増額する。
- ② 繰り下げ待機中であっても、加給年金 & 振替加算は支給される。
- ③ 66 歳の誕生日を過ぎてから繰り下げ申請の手続きを行う。

答え②



お買い物バス



令和 8 年は 1 月 8 日(木)

から運行します。